

美しい多摩川フォーラム 『多摩川の森・自然体験教室』の取組

東京都では平成19年度の重点事業の一つとして『地域力』*事業を実施しています。この事業の一環として取り組まれた「多摩川の森・自然体験教室 高校生リーダー養成講座」が8月18日～20日、青梅市で実施されました。

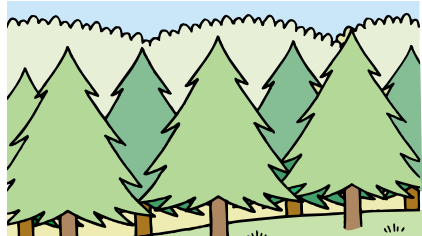
この事業を主催したのは「美しい多摩川フォーラム」（事務局・青梅信用金庫地域貢献部）で、地域に暮らす人々が「多摩川」をシンボルに、豊かな多摩の自然と文化を守り、「地域活性化」と「地域の自立」を図ることを目的として今年7月に設置された団体です。その「美しい多摩川フォーラム」の教育文化部会が、豊かな青梅・奥多摩の自然を生かして、地元の幼稚園児・保育園児を対象に自然の中で五感を使った様々な体験活動の機会を提供しようと考えて「多摩川の森・自然体験教室」が企画されました。その第一弾として実施された保育士向けリーダー養成講座に続き、第二弾として実施されたのが高校生リーダー養成講座です。幼稚園児や保育園児を対象とした自然体験教室を実施していくためには、幼稚園や保育園の先生が指導にあたる外、様々な地域の人々の協力が必要となってきます。そこで、子供たちのよきお兄さん・お姉さん役として高校生の力を借りようということになったのです。

小雨降る8月18日の朝、JR青梅線二俣尾駅近くにある「二俣尾・武蔵野市民の森 自然体験館」に高校生12名（大学生2名）が集まってきました。

この講座は、50年前にスウェーデンで開発された環境教育プログラム『森のムッレ教室』の手法を用いて実施されます。「ムッレ」とは、スウェーデン語で“土壌”を意味する森の妖精のことを指します。子供たちをファンタジーの世界へいざない、子供と自然界との架け橋の役割を担います。

3日間にわたるリーダー養成講座のプログラムは、実際に青梅の森の中に入り、自然観察や森の中で行うゲーム（自然の道クイズ、宝探しゲーム）などのやり方を学んだり、『エコロジーをわかりやすく伝えるためには』、『森の自然の約束を教えるためには』、『自然観察、自然遊びを企画する』といった班に分かれてグループワークを行うなど、多岐にわたる内容でした。

講座の最後に、下重喜代さん（「美しい多摩川フォーラム」教育文化部会長）が、「皆さんは自然遊びの達人になってほしい。それには自然に親しみ、自然を好きになり、自然を理解することが大切です。私が心掛けていることは、ものを言えない生き物の声に耳を傾け、その代弁者になることです。」と話してくださいました。



リーダー養成講座に参加していた高校生たちは、3日間誰も休むことなく、プログラムをやり終えました。9月下旬から青梅市内各地の保育園で月1回のペースで実施される『多摩川の森・自然体験教室』のボランティア・リーダーとして活躍していく予定です。

●「多摩川の森・自然体験教室」の講師として関わった 日本野外生活推進協会 足立邦明さんにお話を伺いました。

この講座を担当する中で、一番大切にすることは、生徒達に自信をもたせることです。「自分自身に可能性がある。」「やればできる。」といった人間としての存在感のようなものを感じさせたいと思いました。



「環境を守る」ことも原点は、自分を大事にすることであり、他人も同じように大事にすることでもあります。また、自然を愛することは、人を愛することであり、自分を愛することであるとも考えます。だから、この講座の中で生徒達が自分自身を見つめ直し、再発見して少しでも自信をもってくれたら嬉しいです。そして、一人でも多くの生徒が足を一歩前に踏み出して、「森のムッレ教室」のサポーターとして活躍してくれることを願っています。

【連絡先】

美しい多摩川フォーラム事務局
（青梅信用金庫 地域貢献部内）

〒198-8722 東京都青梅市勝沼三丁目65番地

TEL 0428-24-5632 FAX 0428-24-4646

E-mail forum@tama-river.jp

URL <http://www.tama-river.jp/>

※『地域力』

住民・企業・NPO、行政などの多様な主体が地域の公共的・社会的課題に自ら気づき、その地域の社会資源の効率的・効果的活用を図りつつ、相互に連携・協働して地域の課題を解決し、地域を発展させていく力